

図書館だより no.254

2025（令和7）年7月30日発行 編集・発行 福島県立図書館
〒960-8003 福島市森合字西養山1番地
Tel 024-535-3218 Fax 024-536-4787 <https://www.library.fcs.ed.jp/>



熱中症にご注意ください！

暑い日が続いています。館内では、ルールやマナーを守ったうえで、飲食が可能です。
こまめな水分補給で熱中症予防に努めましょう。

● 軽食スペースが試行的に設置されています。

ご利用の際は次のルールを守ってください。

- ・資料を利用しながらの飲食をしない。
- ・他の利用者のために長時間の利用をしない。
- ・ゴミは持ち帰る。
- ・他の利用者の迷惑になる行為をしない。
- ・匂いの強いもの、カップ麺等の汁物をご遠慮ください。



展示コーナー前、緑の線の内側が軽食スペースです。

● 軽食スペースの外では、 「ふた付の飲み物に限り」持ち込みができます。

- ・資料等にこぼれたりすることがないように、充分にご注意ください。

ルールやマナーが守られない場合は軽食可能スペースを撤去する場合もあります。
皆様のご協力をお願いします。

展示のご案内

◆企画展示 女性雑誌の120年

場所：企画展示コーナー（正面玄関脇）

期間：8月8日（金曜日）から10月1日（水曜日）

◆ミニ展示① 著名人が見た戦争

場所：エントランスホール付近 ブックトラック

期間：8月1日（金曜日）から9月3日（水曜日）

◆ミニ展示② 日本のアニメーション映画

場所：館内中央 雑誌展示コーナー（調査カウンター横）

期間：7月4日（金曜日）から9月3日（水曜日）

ちいさなおはなしかい

絵本の読み聞かせや、わらべうたを楽しむおはなしかいです。

8月29日（金曜日）
11時から

こどものへやにて
予約不要・参加無料です

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・社会・自然

『個展のつくりかた 展覧会を開きたい人のためのガイドブック』竹氏 倫子／著 風鈴社 2025.4 706.9/外 254

美術に深く関わってきた著者が、はじめて展覧会を開く方にも手順や心構えをわかりやすく解説した 1 冊。「個展を開いて変わること」と題した対談も収録されており、作家や作家志望の方の背中を押してくれます。展覧会を開きたい方だけではなく、展覧会を見ることが好きな方にもおすすめです。

『酒を主食とする人々 エチオピアの科学的秘境を旅する』高野 秀行／著 本の雑誌社 2025.1 294.51/外 251

「私の中の常識がひっくり返る」と作中で述べられているように、多くの驚きが読者を待っています。エチオピアに実在する「酒を主食」として生活する民族について、著者と TV 番組の製作クルーが現地で行った取材をもとに書かれた本です。成人のほか、子どもや妊婦さんまで酒を飲んで暮らしている民族の謎に迫ります。

『古生物超入門 基本から「なぜ？」まですっきり理解できる』土屋 健／著, 芝原 暁彦／監修, 土屋 香／イラスト 立夏堂 2025.3 457/外 253

サイエンスライターの著者による古生物学への入門書です。「フタバスズキリュウ」と「フタバサウルス」は何が違うのか、そもそも「化石」とは何かなどを、分かりやすく解説しています。巻末ではおすすめの博物館や信頼できる古生物情報の入手法などがあり、さらに古生物学を学ぶための知識が身につく構成となっています。

児童・児童図書研究

『花とハーブに囲まれたイギリスの物語』寺嶋 さなえ／著 彩流社 2025.3 J/930.27/て

イギリスの物語が好きな方や読んでみたい方・植物が好きな方におすすめしたいこちらの本は、花やハーブに焦点を当てて物語を紹介している読書案内です。

『ピーターラビットのおはなし』や『不思議の国のアリス』などの馴染みがある物語でも、登場する花やハーブに目を向けてみると新たな視点から味わえます。各章のはじめに、あらすじと「注目したいセリフと描写」が載っているので、知らない物語の章でも楽しく読めますし、花やハーブの関連コラムも充実しています。

紹介されている物語は 15 編。知らない物語を読みたくないのはもちろん、読んだことがある物語も再度読み返したくなってしまう。オールカラーで、眺めるだけでも癒される 1 冊です。

雑誌・新聞

今年 は第二次世界大戦終戦から 80 年の年です。関連特集記事のある雑誌をご紹介します。ぜひご覧ください。

『学校図書館』全国学校図書館協議会 Z017/G2 2025.7(897号, 2025年7月号)

特集「戦後 80 年。戦争をどう語り継ぐか——学校図書館の役割は」

『地平』地平社 Z051/C92025.7 (no.14, 2025.8月号)

特集「不戦の 100 年へ」

『婦人画報』ハースト婦人画報社 Z051/F5 2025.8 (NO.1465, 2025.8月号)

特集「平和画報 戦後 80 年、いまを慈しみ、未来へつなぐ」

『文藝』河出書房新社 Z910.5/B6 2025.8 (第 64 巻第 3 号, 2025.秋)

特集「戦争、物語る傷跡」

地域

『仏と冠婚葬祭 仏教と日本人』玄侑 宗久／著, 一条 真也／著 現代書林 2025.4 LA180.4/G1/19

現役の僧侶であり作家の玄侑宗久氏と、冠婚葬祭業経営者であり作家の一条真也氏が「仏教と葬儀」をテーマに対談。ユニークな肩書を持つ二人が現代社会における死や葬祭文化の意味について掘り下げていく本書は、一見難解そうなテーマに対して意外にも読み進めやすく、彼らの思想のエッセンスを知る 1 冊としておすすめです。

『カッコいい油絵 司馬江漢と亜欧堂田善』司馬 江漢／[画], 亜欧堂 田善／[画], 府中市美術館／編・著 東京美術 2025.3 L735/A1/20

亜欧堂田善は江戸時代後期の洋風画家、銅版画家。須賀川市生まれ。47 歳の時に白河藩主 松平定信によって見出され、江戸で活躍しました。

本書は府中市美術館の同名展覧会の図録であり、ページをひらくとその緻密な絵に驚かされます。田善の画は同時代の画家 司馬江漢とともに、日本の伝統的な美と洋画の技術が融合された独特の魅力を持っています。作風の異なる二人の作品を 1 冊で見ることができ、江戸時代の洋画の「カッコよさ」を味わえる本です。